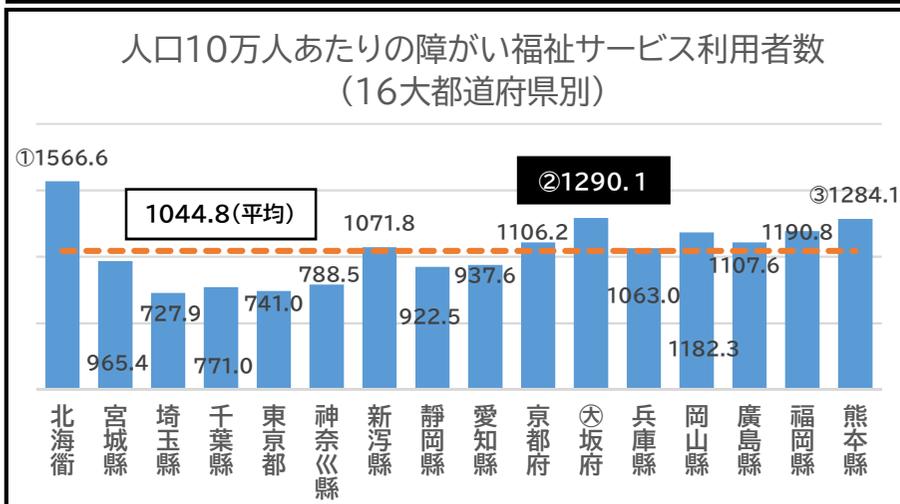
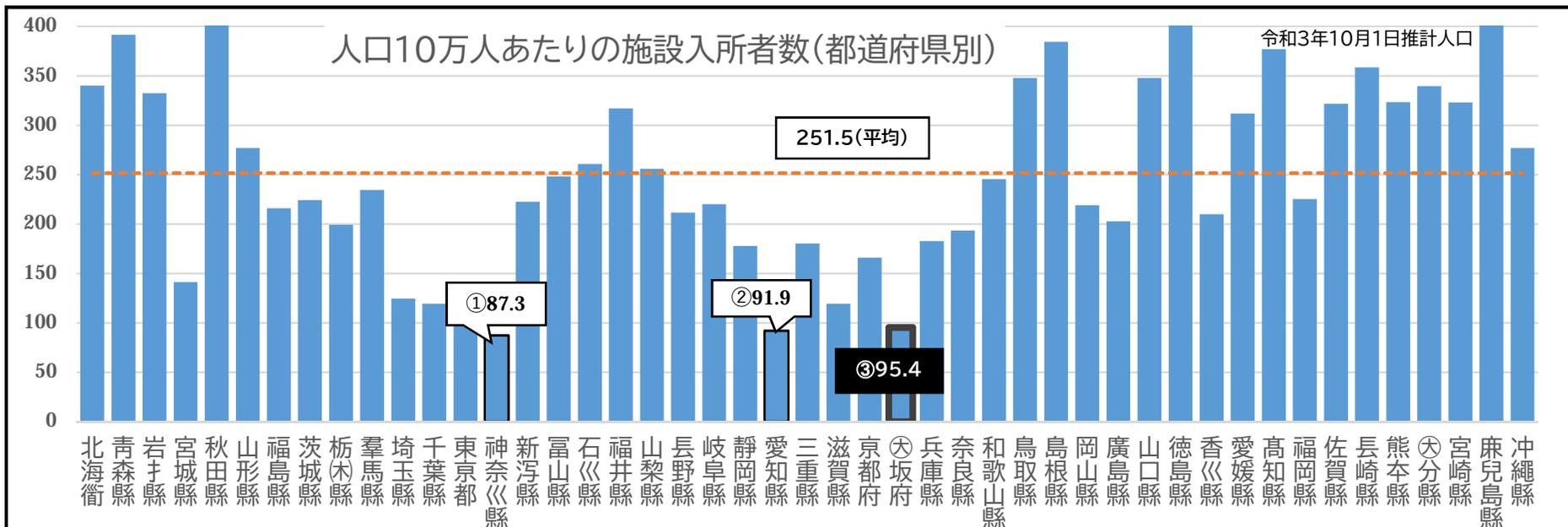


施設入所者の削減数について

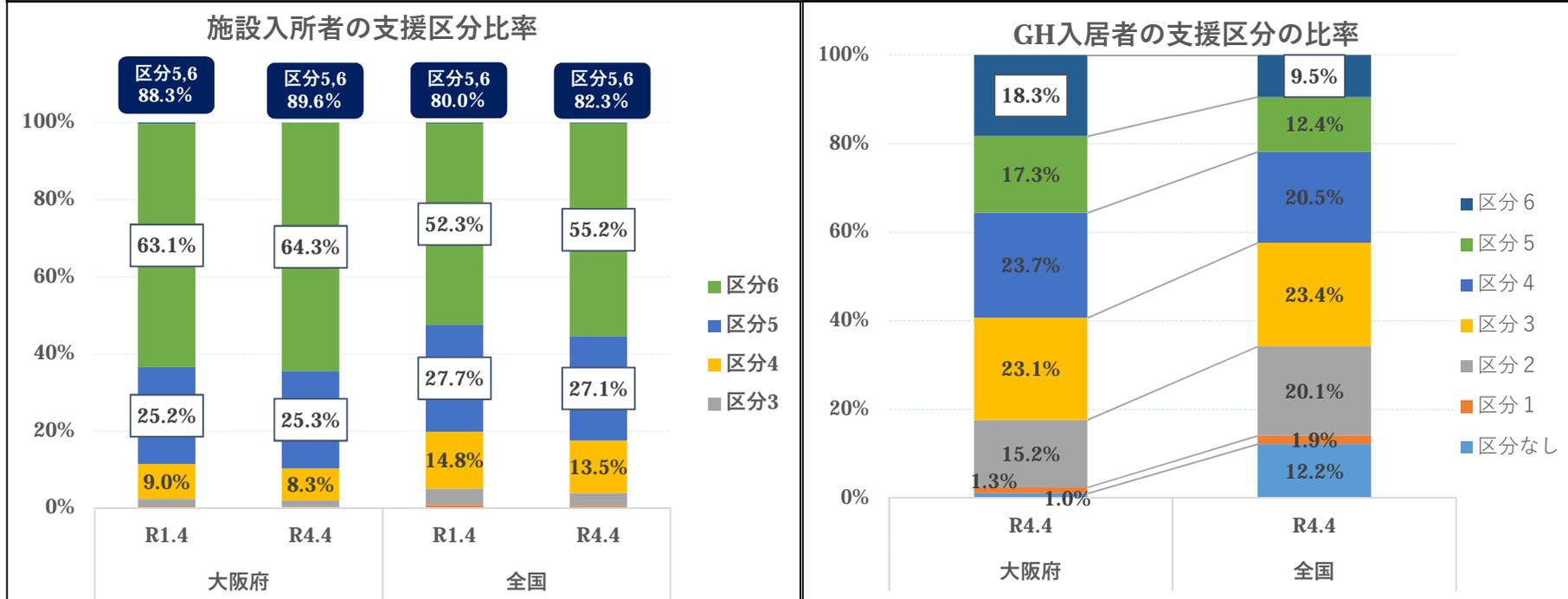
参考資料1

- ・令和3年10月1日の人口推計データ（総務省）の20歳以上64歳未満の人口と令和3年10月国保連請求データをもとに、人口10万人あたりの施設入所者数（支給決定者）を算出し、全国で比較すると、大阪府は神奈川県、愛知県について3番目に少ない95.4人となっている。
- ・また、人口10万人あたりの障がい福祉サービス利用者数を16大都道府県別で比較すると、多番目に多い1290.1人となっており、大阪府は、障がい福祉サービス利用者数が多い状況においても、施設入所者数が少ないと言える。



- ・施設入所者の支援区分を大阪と全国と比較すると、令和元年4月時点において、支援区分の高い5・6の割合では、大阪は**88.3%**、全国は**80.0%**と大阪府が全国よりも**8.3ポイント**高くなっている。令和4年4月時点においても、支援区分5・6の割合は、大阪は**89.6%**で、全国の**82.2%**と比較しても多くなっている。
- ・また、グループホーム入居者の支援区分についても、支援区分6の割合は大阪が**18.3%**で全国の**9.5%**と比較しても多い。

大阪府と全国の支援区分の比較(入所施設とグループホーム)



施設入所者の削減数 国と府の目標値の比較

